

講座案内

不耕起・冬期湛水農法とは

自然耕塾で行われている農法は、千葉県のご岩澤信夫氏*が提唱した冬期湛水・不耕起移植栽培が中心となります。この農法の特徴は、①耕さない②化学肥料や農薬を使用しない③冬も田んぼの水を抜かないというものです。この農法は環境保全と稲作技術を両立するために岩澤氏が組み立てたものであり、化学肥料や除草剤・殺虫剤等の農薬を全く使いません。稲の苗づくりでは、機械植えのための工業的な苗ではなく、病虫害や天候被害に強い健康的な成苗（5.5葉）の育成を目指します。耕さないことがきっかけとなって、田んぼの生態環境がよみがえり、それらの生物による作用で土壌の肥沃化がもたらされます。不耕起・冬期湛水農法とは、耕さない田んぼでおいしいお米がとれ、農薬を使わないため豊かな自然と触れ合いながら農業ができる一石二鳥の農法です。

*岩澤信夫氏とは・・・「不耕起移植栽培」の普及に尽力し、環境問題に一石を投じるとともに、日本の農業のあるべき姿を模索し続けた。功績により第42回吉川英治文化賞受賞。

講座概要

本講座は、理論学習+実技学習（実験田）にて構成されます。

不耕起・冬期湛水農法でのお米作りにて先進的な農家である藤崎農場にも2回訪問し、専業での不耕起・冬期湛水農法経営についても学びます。

岩澤信夫の栽培理論を学ぶことは応用の利く無農薬農法の原理原則、イロハを学ぶこととなります。理論と実践の詰まった豪華な年間学習講座であり、里山の自然に親しみながら無農薬のコメ作りを体験したい方、生き物いっぱいの田んぼで土とのふれあいを楽しみたい方、自給自足農業に興味のある方などに適した講座です。

不耕起・冬期湛水農法の田んぼには、様々な微生物の働きが欠かせません。講座内の授業ではEM菌、光合成細菌、乳酸菌など微生物の働きについて学びます。また、日々の食事と健康における、麴、発芽玄米、甘酒など発酵食品の効果についても学んでゆきます。

尚、12月の味噌づくり時には、自分で作ったお米での米麴と大豆を使い、「手前味噌」を作ることができます。これほどの贅沢はありません。ぜひご期待ください。



対象者

- ・お米の自給をしたい。
- ・緑豊かな里山の田んぼで生き物と触れ合いながらコメ作りを体験したい。
- ・将来は「半農半X」に挑戦したい。
- ・農業に可能性を感じるがまず何をどう学んでよいかわからない。
- ・「不耕起・冬期湛水」農法に関心がある。現役引退後に趣味で実践したい。…etc

日時	2019年3月～11月（お米について11日間、大豆について8日間 計19日間）		
場所	千葉県佐倉市直弥・和田実験田（最寄駅 J R 総武本線南酒々井駅） 千葉県香取市（最寄駅 J R 成田線下総神崎駅） 千葉県南房総市 ほか。		
受講料	<お米コース>全11回	80,000円／1人	（入学金10,000円を含む）
	同伴受講者（ご家族）	45,000円／1人	
	<大豆コース>全8回	40,000円／1人	（入学金10,000円を含む）
	同伴受講者（ご家族）	25,000円／1人	
	<お米・大豆コース>全19回	110,000円／1人	（入学金10,000円を含む）
	同伴受講者（ご家族）	60,000円／1人	

※12月の味噌作りワークショップに関しては材料代を別途徴収します。

※一日から参加するスポット受講も受付けています。お米コース 7500 円/回、大豆コース 5000 円/回。

講師

<鳥井報恩>お米コースメイン講師



日本不耕起栽培普及会／監事、NPO 法人未来農業研究センター／理事、元千葉県立旭農業高等学校教諭
2001 年から不耕起栽培の岩澤信夫氏に師事し、同氏の技術を継承、普及に努めている。

<藤崎芳秀>お米コース特別講師



昭和14年生まれ。昭和34年に就農。昭和61年から不耕起栽培を始める。20年以上耕さない田んぼでとれる米やメダカが群れる田んぼで各紙に紹介される等、耕さない田んぼでのイネづくり実践面での第一人者。6haの不耕起・冬期湛水の専業農家。

書籍「プロフェッショナル農業人 ――“儲かる農業”をどうつくるか」大澤 信一 (著)にて紹介されている。

<五十嵐武志>お米コース講師



千葉県南房総市で、10年以上にわたり冬期湛水不耕起移植栽培に取り組んでいる。刈り払い機のみを使い、田植え以降の除草不要で生物多様性に富んだ無農薬の田んぼ作りには定評がある。

学習教材

- ★「不耕起でよみがえる」岩澤信夫（著）
- ★「究極の田んぼ」岩澤信夫（著）
- ★「ロジカルな田んぼ」松下明弘（著）
- ★「土がよくなりおいしく育つ 不耕起栽培のすすめ」涌井義郎（著）

連絡先

Tel: 090-3408-7965（福田）

E-mail: green_paddi@yahoo.co.jp

自然耕塾@佐倉 FAX: 0479-62-2739

